

さいたま市文化財時報

かや 榎りぼーと

第60号

平成27年度 埋蔵文化財の調査・展示・紹介

「埋蔵文化財」とは、様々な文化財のうち、地中に「埋蔵」された「文化財」のことです。^{たてあな}竪穴住居跡、貝塚、古墳など、構造物の痕跡である「遺構」と、土器、石器、^{どぐう}土偶、^{はにわ}埴輪など、物品である「遺物」に大きく分けられます。

地面の中は、風雨や動物の活動など、文化財に被害を与える外的要因にさらされにくいと、遺構や遺物が数千年から一万年以上にわたって保存されることもあります。埋蔵文化財は、はるか昔の我々の祖先が造り出したものがそのまま保存された、当時の生活を知るための重要な資料であり、長い年月をかけて育まれてきた歴史や文化を伝える貴重な存在です。

さいたま市内にも、旧石器時代のものから近世のものまで、様々な埋蔵文化財が^{のこ}遺されています。埋蔵文化財が存在する地域は、一般的には「遺跡」、専門用語では「埋蔵文化財包蔵地」と呼んでいます。現在、市内の各地には、「埋蔵文化財包蔵地」が1,127か所確認されています。

埋蔵文化財は、一度地中から掘り出してしまうと、二度とは元に戻せないものであるため、できるだけ埋もれたままの状態に保存してゆくことが望ましいのですが、土木工事などで壊れてしまうことが避けられない場合には、記録として保存するため、工事着手に先立って「発掘調査」を実施しています。さいたま市内では、今年度、平成28年2月末までに13件の発掘調査を実施しました。今回は、これらの発掘調査の中から主な調査の結果をご紹介します。



▲古墳の周堀から土器が出土(白鍬宮腰遺跡)

おおわだじんやあと 大和田陣屋跡の調査

〈見沼区〉

東武野田線大和田駅の西南西約0.7km、見沼区大和田町1丁目に位置する遺跡です。見沼田んぼの東側の台地の縁にあたり、遺跡の南側を中世以来の街道が東西に通っています。

今回は大和田陣屋跡での7地点目の発掘調査です。個人の専用住宅の建設に先立ち、さいたま市教育委員会が平成26年10月から平成27年6月にかけて実施しました。隣接する地点でも、平成26年度にさいたま市遺跡調査会が開発事業に伴う



▲中世の溝の断面(大和田陣屋跡)

発掘調査を実施しており、各調査の結果を総合した結果、中世から近世にかけての土地利用の変遷の一端が明らかになりました。大和田陣屋跡では、遺跡の南側の街道沿いの土地が中世に平坦に整地され、^{ほったてばしらたてもの}掘立柱建物などが建設されていたことが判明していますが、その北側にも一段高い平坦面が確認され、中世の掘立柱建物跡や幅2mを測る溝の跡が見つかりました。これらの遺構が埋没した後、この一段高い造成面を部分的に掘り下げ、周囲に^{どろい}土塁が築かれたようです。これまで陣屋の遺構とされてきたこの土塁の築造の時期は、盛土の中から出土した遺物から、近世であることが判明しました。



▲掘立柱建物跡等調査のようす(大和田陣屋跡)

きぞらかいづか 木曾良貝塚の調査

〈岩槻区〉

東武線岩槻駅の東南東約2kmの、岩槻区府内2丁目に所在する遺跡です。東に位置する元荒川の谷から西に延びた浸食谷の南側の台地上に位置します。

今回は木曾良貝塚での3地点目の発掘調査です。個人の専用住宅の建設に先立ち、さいたま市教育委員会が平成27年10月から11月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代後期の遺物包含層、土坑2基、時期不明の土坑7基、ピット17基、近世の土坑6基などを検出しました。縄文時代の遺物包含層は、当時の浅い谷の先端部と思われる窪地の中に堆積しており、土器の破片が多く出土しました。近隣に当時の集落が営まれていたことが推測されます。近世の土坑からは銭貨(寛永通宝)などの遺物が出土しました。



▲銭貨出土のようす(木曾良貝塚)

なかの だぼりの うち なかの だしまの まえ 中野田堀ノ内遺跡・中野田島ノ前遺跡の調査

〈緑区〉

いずれも、埼玉高速鉄道浦和美園駅の北西約7.3km、緑区大字中野田に所在する遺跡です。大宮台地の東縁の台地上にあたり、東側は綾瀬川沿いの低地に面しています。

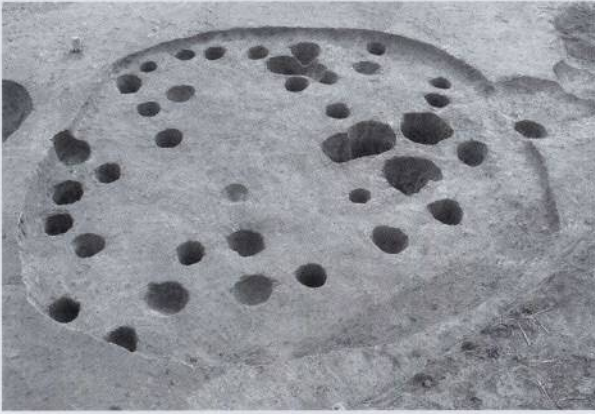
今年度は、それぞれの遺跡で1地点ずつ発掘調査を行いました。両地点は隣接しています。いずれも土地区画整理事業に先立つもので、さいたま市遺跡調査会による調査です。

中野田堀ノ内遺跡の調査は、平成27年9月から11月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代中期から後期の住居跡4軒、土坑71基、平安時代の土器焼成土坑3基、土坑3基、中世以降の溝4条などを検出しました。平安時代の土器焼成土坑からは、甕形土器などの破片が出土しています。



▲土器焼成土坑土器出土状況
(中野田堀ノ内遺跡)

中野田島ノ前遺跡の調査は、平成27年11月から12月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代後期の住居跡1軒、土坑30基、平安時代の土坑1基、中世の土坑1基、平安時代以降の溝2条などを検出しました。縄文時代後期の住居跡は、今回の調査地点の南西方に位置する、中野田不動堂付近での発掘調査でも確認されており、当時の集落が今回の調査地点まで広がっていた可能性が考えられます。中世の土坑からは供養塔である板碑が出土しました。



▲縄文時代後期の住居跡(中野田島ノ前遺跡)



▲調査区全景(大戸本村1号遺跡)



▲縄文時代中期の住居跡(大谷稻荷東遺跡)



▲古墳周堀のようす(白鍬宮腰遺跡)

されました。調査区南東側で確認された周堀は、東側に隣接する白鍬塚山古墳のもので、埴輪の破片などが出土しました。ほかの2条の周堀は、いずれも今回新たに発見された古墳のものでした。

特に、調査区北側で確認された周堀は、推測される墳丘の直径が約20mという大型のものでした。また、西側の周堀からは表紙の写真のように土器がまとまって出土しました。

おお とほんむら

大戸本村1号遺跡の調査——〈中央区〉

JR 埼京線南与野駅の南東約0.8km、中央区大戸3丁目に位置する遺跡です。鴻沼川と別所沼から北に続く谷に挟まれた、南北に細長い台地状に位置します。

今回は大戸本村1号遺跡での4地点目の発掘調査です。分譲住宅の建設工事に先立ち、さいたま市遺跡調査会が平成27年12月に実施しました。調査の結果、縄文時代中期の住居跡1軒と土坑7基、中世以降の土坑、縄文土器などの遺構や遺物を検出しました。今回の調査結果と過去の周辺遺跡での発掘調査結果から縄文時代中期の集落跡が広範囲におよぶことが明らかになりました。

おお やいなりひがし

大谷稻荷東遺跡の調査——〈見沼区〉

東武野田線大和田駅の南東約1.9km、見沼区大字大谷に位置する遺跡です。大宮台地東縁の大和田・片柳支台に位置し、東側は支谷が北西から南東に向かって入ります。

今回は大谷稻荷東遺跡での初めての発掘調査です。それに伴い遺跡の名称がA-196号遺跡から変更となりました。分譲住宅の建設工事に先立ち、さいたま市遺跡調査会が平成28年1月から2月にかけて実施しました。調査の結果、縄文時代中期の住居跡3軒、土坑12基、土器などの遺構や遺物を検出しました。この遺跡周辺での発掘調査例は少ないですが、南側近接地に位置する向大谷西遺跡でも縄文時代中期の遺跡が発掘調査で確認されています。

しらくわみやこし

白鍬宮腰遺跡の調査——〈桜区〉

JR 埼京線与野本町駅の西約2.1km、桜区大字白鍬に位置する遺跡です。大宮台地日進与野支台の西縁にあたる台地上から自然堤防上にかけて位置します。

今回は白鍬宮腰遺跡での14地点目の発掘調査です。集合住宅の建設工事に先立ち、さいたま市遺跡調査会が平成28年1月から3月にかけて調査を実施しました。調査の結果、古墳時代中期と後期の古墳周堀3条などが確認

埋蔵文化財の展示・紹介

さいたま市では、埋蔵文化財の調査のほか、皆様に埋蔵文化財をご紹介します、理解を深めていただくための活動も行っています。

平成27年9月から12月には、市内の発掘調査の成果をいち早くご紹介する「最新出土品展」を、さいたま市立博物館(大宮区)、ステラタウン(北区)、サウスピア(南区)、春野図書館(見沼区)、浦和区役所(浦和区)の各会場で開催しました。今回は公共施設のほか商業施設で開催したことで、例年より多くの方にご観覧いただきました。

9月12日には、「さいたま市内遺跡発掘調査成果発表会」を市立博物館で開催し、市内の遺跡の調査成果を各調査担当者が発表しました。発表会終了後は、市立博物館の特別展示室で開催中の「最新出土品展」において、調査担当者が出土品の展示解説を行いました。



最新出土品展(ステラタウン)

お知らせ

□さいたま市指定無形民俗文化財「南部領辻の獅子舞」の公開

平成28年5月15日(日)〔予定〕(雨天中止)

10時～ 鷲神社(緑区南部領辻2941)

13時～ 南部領辻地区内

春の公開は、鷲神社を出発し、南部領辻地区内を巡る村祈禱があります。

*天候等により日程が変更となることもありますので、詳しくはさ

いたま市の Web ページをご覧ください。文化財保護課(☎829-1723)までお問合せください。



村祈禱の様子

□国指定特別天然記念物「田島ヶ原サクラソウ自生地」の開花期イベント

「田島ヶ原サクラソウ自生地」(桜区桜草公園内)では、サクラソウが4月上旬から中旬にかけて見頃を迎え、ノウルシやヒキノカサなど稀少種を含む多くの野草も見ることができます。

*サクラソウ自生地ボランティアガイド

4月24日(日)まで 9時～16時

「田島ヶ原サクラソウ自生地を守る会」によるガイド (雨天中止)

*サクラソウ自生地見学会

4月11日(月) 10時～12時

自生地の植物や歴史について解説・案内(定員20名)

4月4日(月)から電話で文化財保護課(☎829-1723)にお申込みください。

*開花情報は、さいたま市のホームページでお知らせしています。



サクラソウ



見学会の様子

さいたま市文化財時報

榎りぼーと

第60号

平成28年3月30日

《編集・発行》

さいたま市教育委員会 生涯学習部 文化財保護課
☎330-9588 さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号
☎048-829-1723 ☎048-829-1989
<http://www.city.saitama.jp/>